

地域力

活力あふれる平和で
豊かな住みよいまちへ

ひとづくり

「人がまちをつくりまちが人をつくる」という言葉のとおり、この永遠のサイクルによって、世界に誇る歴史と文化を持った私たちの住む浦添もまた、多くの先人達の情熱と努力によって今日まで発展してきました。人間社会の原点がここにあり、平和で豊かな社会の実現は「ひとづくり」から始まるのです。少子高齢化・国際化・情報化など、激動する時代の荒波の中にあつて、特に次代を担う青少年の健全育成は、本市の最重要課題として位置づけ、これまで英語教育、セカンドスクール、児童センター建設事業等、子ども関連の事業に全力を挙げて取り組んでまいりました。その集大成として去る11月1日には「子どものまちでたご宣言」を多くの市民と共に高らかに言いまして、これからの4年間、宣言に沿い市民の皆様方と一緒に生きて、子どもの笑顔と笑い声のあふれる「浦添」を実現してまいります。



ものづくり

市民の生活向上と地域経済の活性化は不離一体のものであります。浦添市西海岸開発の第1ステージ埋立事業が本格的に動きだしました。港湾機能の向上、空港へのアクセスの向上及び、国道58号等主要幹線道路の渋滞緩和を図る臨港道路浦添線の整備を推進してまいります。また、臨港道路背後の都市機能用地は、本市の産業・経済活動の拠点として、且つ将来の牧港補給地区跡地利用計画を先導する商業・業務施設用地として整備し、「世界に開かれた夢とロマンのある西海岸」の実現を図ってまいります。これからも更なる地域活性化のため、都市モノレール延長事業を推進するとともに、市内に予定する3つの駅周辺を含む沿線地域の土地利用計画を、市民と共に策定してまいります。併せて、牧港補給地区の跡地利用計画を策定し、東西のゲートシティとしての役割を明確にしつつ、経済・雇用・観光の活性化による地域経済力を構築し、「ものづくり」の拠点として円滑に整備が推進されるよう、将来を展望した確かな成長の実現へ、大きく踏み出してまいります。

まちづくり

11万市民が日常生活を営み、また、基礎的コミュニティの自治会をはじめ、多くの団体やグループの皆様が活動し、企業や事業所に勤める方々が、日々経済活動を営んでおります。その中に凝縮された古い歴史と文化は市民の誇りであり、心の拠り所です。特にその核となる浦添グスクの復元は、全ての市民の願いであり、地域文化力の象徴となります。浦添グスクの世界遺産登録に向けた取り組みと併せて、浦添市都市景観条例によるまちづくりを推進し、市民が誇り誇れるまちづくりを実現してまいります。加えて、市の土台となる都市基盤整備につきましては、都市の骨格となる都市計画道路整備事業をはじめ、身近な生活道路や都市公園の整備、土地区画整理事業等を精力的に進め、安心・安全で快適なまちづくりを引き続き推進してまいります。



第148回浦添市議会定例会において、第12代浦添市長として再任された儀間光男市長がこれからの市政運営に臨む所信を述べました。儀間市長の3期目の目標は「地域力」を高めることです。今、成熟しつつある浦添に求められるのは、「地域力」であり、市民や企業、NPOや行政が協力して11万市民の幸せを実現していくことだと考え、そのために、地域力をキーワードに「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」を3つのビジョンとしたまちづくりを展開すると所信表明しました。

平成21年度主要施策

万人でとぎやわら生活創造都市

浦添ブランドの確立

地域で伝統工芸品を生産して観光振興と雇用促進を図り、「消費だけでなく生産するまち」への移行は極めて重要であると考えております。織物の原材料としての絹糸を蚕から生産し、オリシナルデザインを施して出荷することによる浦添ブランドの確立と、生産・流通・販売に関する一連の事業展開を本年度も推進してまいります。



農業・漁業の促進

農業については、亜熱帯性気候の特性を活かした都市近郊型農業を促進してまいります。更にJAおきなわ浦添支店と協力し、農産物展示即売会の開催をおして農家の生

産意欲、及び技術向上に努めてまいります。

漁業については、作り育てる養殖事業の充実による漁業生産の安定向上、後継者の育成等を図るため、浦添宜野湾漁業協同組合と一体となつて、海ぶどう及びクルマエビの養殖事業を引き続き推進してまいります。また、「浮漁礁漁場整備事業」を活用し、燃油価格高騰下でも操業できる漁業を支援します。

企業誘致・雇用促進

本市は沖縄振興特別措置法に基づく産業高度化地域指定を受けており、企業誘致を積極的に取り組み、誘致企業に対する固定資産税の減免、新規雇用者企業に対する研修補助、施設賃借補助事業を実施してまいります。

平成20年県内完全失業率は7.4%となっており、全国平均と比較し依然として高水準の値を示しています。このような深刻な雇用情勢の解決を図るため、引き続き雇用の確保・職業能力開発推進等の

那覇港浦添分頭地区の整備促進

諸施策を実施してまいります。市内在住者優先雇用機会の創出対策として企業訪問、高校生の就職への意識を高めるための講演会の開催、および就職を希望する市民に対し、就労機会の拡大と就労条件の向上を図るために職業能力開発講座を開催し、技能・知識の習得による実務支援を引き続き実施してまいります。さらに、中小企業従業員の福利厚生と雇用安定を図るための諸施策を充実してまいります。

国際流通港湾を目指す那覇港では、背後地におけるロジスティクスセンターの整備・運営をPFIによる事業化が決定し、2011年の運営開始を目的に事業に取り組んでいるところであり、その中で、那覇港浦添分頭地区は新たな産業集積の拠点として整備を促進し、21世紀の浦添を象徴する「海を活かした文化と活力ある新しい都市の形